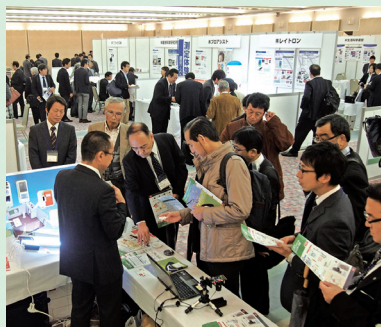




EG おおさかな  
場所やひとをご紹介します

# EG でいこう!

大阪府を中心に「産学公民金」が連携した企業の「発掘と育成」に取り組む、大阪版エコノミックガーデニング「EG おおさか」。EG なキーパーソンや支援機関の取り組みなど、毎月広域な視点でご紹介します。



昨年11月に近畿経済産業局と共催で開かれた「介護・福祉・健康ビジネスフェア」

10月23日開催予定の「ふるさと名産応援フェア」。近畿二府五県と埼玉県、島根県の名産品を一堂に集め、地域にゆかりのある工芸品や食材などの展示商談会、講演やセミナーも実施。国の補助金採択を受けての開催。金融機関が国の補助金に応募して採択された取り組みは関西初。

## 垣根を越えたコミュニケーションから生まれる「地域連携」の新しいカタチ。

これまで中小企業と銀行の関係といえば、資金調達のための融資が基本。りそなグループは、そういった銀行の固有業務のみならず、法人顧客のさまざまなニーズや課題に対し、最適なソリューションを提供できる体制づくりを進めている。その拠点となるのが「りそな御堂筋ビジネスソリューションプラザ」だ。すでに10年近い活動のきっかけを、担当マネージャー下浦哲也氏はこう語る。「法人の取引先に対してソリューションの提案をしていくことが、他の銀行との差別化にもなり、お客様ともWin-Winの関係を築けるという考えがありました」りそなグループは、りそな銀行、埼玉りそな銀行、近畿大阪銀行からなり、加えてシンクタンク的な存在である、りそな総合研究所を持つ。これら約600店の支店をつなぎ、日々、情報を連携し管理する。コア業務となるのは、要望に対応するビジネスマッチングだという。銀行だけで対応できないところは、行政や地域の支援機関とも連携していく。昨年創設された「りそなのづくりネットワーク」では、ものづくり分野に特化し、グループ約9万社の取引先情報を活用し、新たなビジネスマッチングに取り組んでいる。「多くの中小企業が、技術力はあるが大手企業との接点が少ないという課題を抱えているいっぽうで、大手企業側にも、技術力がある中小企業に発注したいが探索が困難、という課題があります。このネットワークを通じて接点を持つ場

を提供することで、潜在的なビジネスチャンスを実現し、ものづくり企業を応援していきたい。同ネットワークは、大企業・中堅企業を中心に技術や製造面での課題・ニーズの開示を受け、全国のグループ傘下銀行の取引先の中から、対応可能な企業を無償で探索・紹介するというもの。そのため、取引から得られる表面的な情報や財務諸表の数値による評価だけでなく、経営理念や技術力、ブランド力や人材、経営者の人となりなど、画一的には評価できない情報も加えて顧客を正しく理解し、信頼関係を築くよう務めている。これまでも顧客以外も気軽に参加できるイベントを独自開催してきたが、2013年7月、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」としての認定を取得し、今年10月には国の補助金によるイベントも開催する。一貫して地域密着を掲げ、企業の課題解決に多くの団体とも連携してきた10年間、「何でも相談してもらえる場所でありたい」という考えは一貫して変わらない。地域密着を強みとする、りそなグループだからできた、「かゆいところに手が届く」サービスといえよう。

りそな御堂筋ビジネスソリューションプラザ  
http://www.resona-gr.co.jp/kigyoseicho/sodan/midousuji.htm  
大阪市中央区平野町 4-1-2 りそな銀行 御堂筋支店内  
TEL 06-6202-1755

## SELECT at LIBRARY

EGのキーワードのひとつが地域の図書館との連携。公共図書館として日本一の蔵書数を誇る府立中央図書館と、ビジネスや大阪関連の資料を強みとする府立中之島図書館の両司書が今回の特集に合わせて「B to C-挑戦するものづくり企業」をテーマに、オススメの所蔵本をご紹介します。

### 「意識的な問題解決」のためのデザインとものづくり

「世界を変えるデザインものづくりには夢がある」

著者：シンシア・スミス  
英治出版



全世界の90%の人々は、デザイナーがデザインする作品の恩恵を受けていません。でも、それらの人々も、最先端でなくシンプルでもよく考えられたデザインの力によって、日常で切実に必要とされるものから生活を大きく変えることができます。この本から「デザイン」と「ものづくり」の持つ可能性が見えてきます。



西尾 恵一氏

大阪府立中央図書館

東大阪市荒木北

### カラを破るものづくり企業

「モノづくりで幸せになれる会社と 下請メーカー18社の転機」

著者：坂本光司・林公一  
日刊工業新聞社



これまでの殻を破ってB to C事業、自立化経営を成功させたものづくり企業。成功の影には自社の分析と強化、市場の把握、弱点を補う外部との連携など、「+a」を生み出す努力と工夫がありました。各社はいかに悩み、何を果たしたのでしょうか? 18社それぞれの「挑戦」の軌跡を紹介しています。



小笠原 弘之氏

大阪府立中之島図書館

大阪市北区中之島

※11月までリニューアル工事中。予約本受取は可能。

MOBIOの常設展示場で会いましょう



モビオカフェミーティング ログ

ものづくり企業の情報交換と交流の場！  
来て！見て！話して！ゆるくつながりましょう。  
話せばわかるの精神で、  
まずは参加者同士知り合うのが近道。

Blog も見てね

http://www.m-osaka.com/mobioblog/



### 初！屋外の製品実演

MOBIO玄関に発生させた細かい霧の気化熱利用によって体感温度を2~7℃下げる体験！熱中症対策に有効な株式会社オーミヤの屋外用20~30ミクロン「微霧」の発生・噴霧システム「クール・ビーム」だ。霧が細かいため体が濡れにくく、路面も濡らさない。

6/3 UP DATE

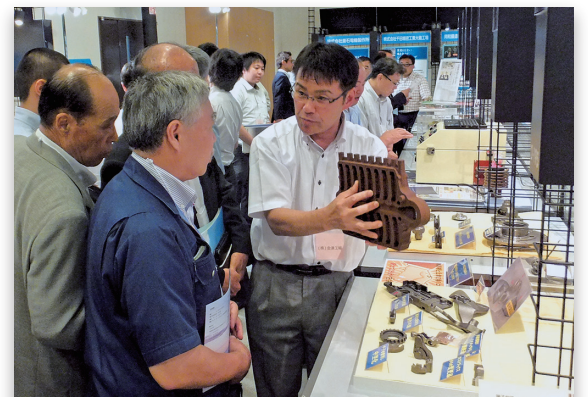


### MOBIO は現場主義！ 初の試みバス・ツアー

出張 MOBIO-Cafe Meeting の第2回目は、なんとマイクロバスを利用し大阪市城東区から和泉市へと移動。異種材料の接合・固相接合やレーザーの複合溶射による超硬合金表面改質。この技術を活かし超硬合金、リユース金型などの内製化を実現したマツダ株式会社。マツダの工場見学を終えた後、一路テクノステージ和泉へ。耐震試験、非破壊検査など、技術課題解決を支援する試験設備を視察できたのは大阪府立産業技術総合研究所。現場で学び現場で繋がるのが出張 MOBIO-Cafe Meeting。もちろん交流会でも、隣のすごいものづくり企業を知る機会に満ち溢れていた。



7/13 UP DATE



### 当日受注も！『岩手・福島・大阪の ビジネス・マッチング』

岩手から7社、福島から5社の企業プレゼンは70名を超える参加者で外気以上に熱気上昇！プレゼン後の自由時間では立て続けに浴びせられる個別の質問に対応を迫られる場面も。そんな中、今回で4年目となったこのマッチングで、「当日即受注」の吉報に、会場内からどよめきがおこった。東北と大阪のつながりはこれからも太く・長く継続中。

7/24 UP DATE

### 今後の予定

- 10/7(水) 4高専による産学連携オフィス企画展Meeting  
出張MOBIO-Cafe Meeting  
(津山ステンレス・メタルクラスタープレゼン交流会)
- 10/13(火) 3大学による産学連携オフィス企画展Meeting
- 11/6(金) 「大阪ものづくり看板企業」Meeting
- 11/19・20 出張MOBIO-Cafe Meeting  
(木・金)  
(豊田市:先端技術産業振興プラザ)
- 12/4(金)・22(火)

詳しい内容、場所などはMOBIOのwebで  
http://www.m-osaka.com/